

## TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2019 Rd,4 オートポリス OTGMotorSports REPORT

---

OTGMotorSports 86/BRZ Race in オートポリス

6/15～16日で86/BRZ Race 第4戦がオートポリスで開催された。  
予報通りの雨により気温の低い中行われた。

2ヒート制で行われる今大会。

予選からヒート1、ヒート2と3回走るのだが、使えるタイヤは1セット。

オートポリスは高低差のあるテクニカルレイアウトで知られ、またタイヤ厳しいサーキットでも知られる。単純な速さのみならず、タイヤグリップをいかに持たせることができるか、またタイヤグリップの落ちていくマシンをいかにコントロールして速く走らせることができるかが重要な戦いとなる。

ウェット路面で迎えた予選では、ダンロップタイヤは苦戦を強いられた。

路面温度が低いため、グリップ不足に悩まされる。赤旗が出るなど荒れた展開になるが、なんとかまとめて、60号車服部が17番手、鈴鹿以来の参戦となった80号車宮田は13番手。10号車の菅波は、クラッシュしてしまうが、チームのリカバーで残り4分でコースに出るが、クラッシュの影響か、24番手で予選を終える。

同日昼に迎えたヒート1は、ウェット路面の影響でやはりタイムが上がって行かない。

ハイドロに悩まされることになり。結果、60号車服部が18位、80号車宮田が15位、10号車菅波は、19位で終えた。

明けて迎えたレース2では、雨は止んではいたが、路面温度は未だ低い状態だった。

直前に行われたクラブマンクラスヒート2のお陰でレコードラインはほぼドライ状態にあった。レースがスタートすると上位勢は抜け出すが、4番手以降が団子状態になり各所でバトルが展開される。ギリギリに攻める戦いにプロクラスの技が光る。

服部、宮田、菅波は近い位置を走りながら、前を追って行く。レースも後半を過ぎると路面温度も上がり始め、タイムが上がって行く。特に10号車の菅波のタイムがよく果敢にオーバーテイクを決めて行く。

60号車服部は、接触を避ける為にコースアウトが響き14位でフィニッシュ、80号車宮田は、途中クラッチの不具合が出てしまい、ポジションを落としてしまい16位でフィニッシュ。

10号車菅波は、10ポジションあげて9位でポイントを獲得した。

クラブマンクラスに参戦中の777号車山崎選手は予選7番手から1ヒート目は10位となる。2ヒート目は順位を上げていたが最終ラップでハーフスピンを喫し8位となった。

速さがあっただけに悔しい結果になった。

今回でシーズンの半分を終了。

ドライでは速さを見出しているが、ウェット路面に苦しめられている。

次戦までに改善して、次戦はいい結果を残していきたい。

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2019  
Rd,4 オートポリス OTGMotorSports REPORT

---

